



議員 関 清 貴 (政 和 会)

仮設住宅での住宅再建相談会を

県主催の説明会に町職員も同行

問 各地区の復興事業の進捗率は。遅れがあるのであれば、その主な理由

佐藤町長 大沢地区は予定どおり、約5割の進捗。山田地区は1年半、2年の遅れ、進捗は約4割、国・県等の事業間の調整や用地問題等で遅れている。織笠地区は区画整理に1年の遅れ、進捗は約8割、土砂運搬との調整と地盤対策に時間を要した。船越・田の浜地区は約半年の遅れ、進捗は約8割、道路事業等との調整に時間を費やした。大浦地区の宅地造成は完了、進捗は約7割。
問 仮設住宅に向向いての住宅・生活再建の相談会開催は。

佐々木建築住宅課長 2

カ月に1回、県主催の説明会に町職員も同行し、個別相談会への対応も行ってはいる。

問 町長自らが仮設住宅等で説明会を開催し、声を聞く考えは。

町長 仮設住宅を月2回程度訪問し、そのときに聞いた話を持ち帰り、担当課から回答するなどしている。



今冬のオープンを目指して工事中です

地域の集会施設の再建計画は

場所や規模・財政負担を考えて

問 被災した飯岡、北浜防災センター、境田地区の漁村センターなどの復旧計画は。

問 震災を経験し、自治会の役割は大きい。悠長なことを言わず進めてほしい。

町長 住まいの確保を最優先として取り組んできたが、集会施設については、利便性を考えた場所、施設規模、財政負担などを考慮して検討していきたい。

上林企画財政課長 集会施設の必要性は認識している。施設の成り立ちや財源等を考えながら、できるだけ早期に進めていかなければならないと考えている。

町民が望む給食事業の早期実施を

事業の優先順を考慮し時期を検討

問 学校給食事業の凍結解除の時期は。

言できない。今、検討しているということで理解をお願いしたい。

町長 復興事業を見据え、条件が整った段階でと考えている。

問 多くの町民が完全給食を望んでいる。早期に実現できないか。

町長 事業の優先順位があり、時期については明

その他の質問

◆震災で傷んだ街灯や側溝蓋等の撤去・修復は